

■ 第22回 小樽市都市景観賞の決定について ■

【小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観審議会】

◇開 催 日 平成29年11月28日（火）

◇審 査 経 緯 10件の応募物件の中から、現地視察や資料により審査

◇景観賞推薦基準

- 1 周辺景観との調和について評価する
- 2 地域社会への配慮について評価する
- 3 単体としての価値を評価する
- 4 まちなみとしてのデザインを評価する
- 5 都市景観形成に対する理解と積極的な取り組みを評価する
- 6 都市景観に対する市民意識の向上に寄与するものについて評価する

【選考結果】

（都市景観賞：2件）

表彰物件名	表彰対象者
小樽芸術村	株式会社 ニトリ 代表取締役社長 白井 俊之
※注1（旧）岡川薬局	福島 慶介

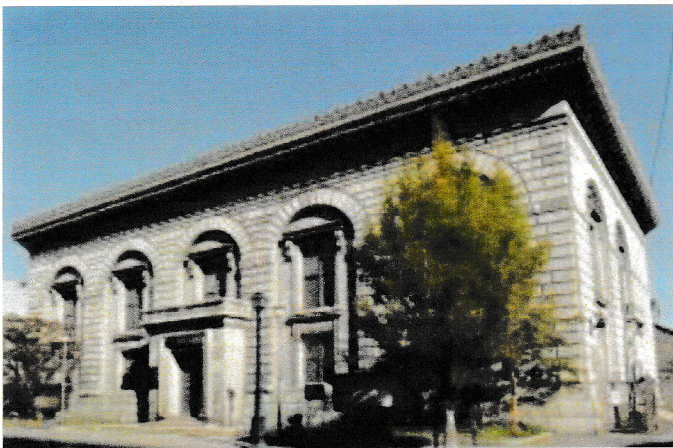
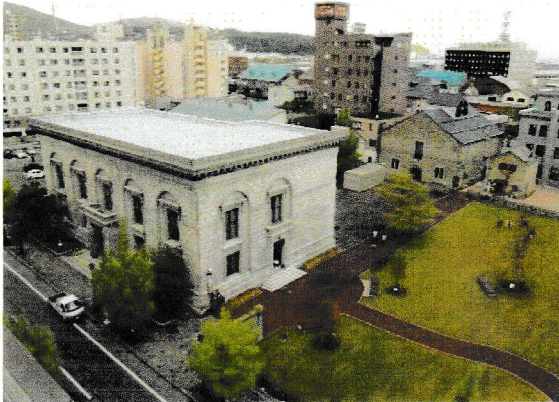
※注1:平成23年度に奨励賞受賞

（都市景観奨励賞：1件）

表彰物件名	表彰対象者
NPO法人 小樽民家再生プロジェクト	NPO法人 小樽民家再生プロジェクト 代表 中野 むつみ

小樽市都市景観賞

物件名) 小樽芸術村



旧三井銀行小樽支店



旧高橋倉庫



旧北海道拓殖銀行小樽支店

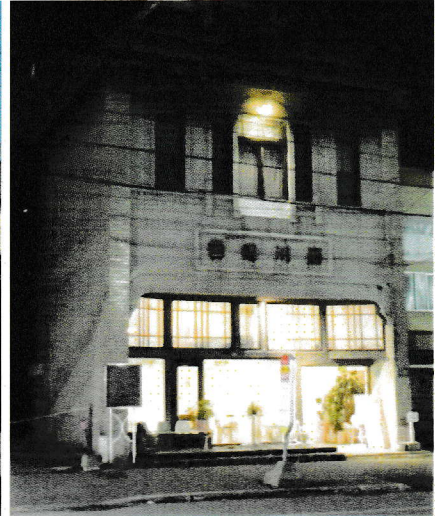


旧荒田商会

- 平成 28 年に開設された小樽芸術村は 4 棟の建物と中庭から構成され、小樽市指定歴史的建造物の旧高橋倉庫は「ステンドグラス美術館」、旧荒田商会は「小樽芸術村ミュージアムショップ」、旧北海道拓殖銀行小樽支店は「似鳥美術館」として活用され、旧三井銀行小樽支店は、平成 29 年 2 月に小樽市指定有形文化財に指定された。
- 歴史に芸術という新たな要素を加えた複数棟の歴史的建造物と中庭とが一体的に活用されることにより、個々の歴史的建造物の価値が高められるとともに、新たな景観空間が創出されたことが評価された。

小樽市都市景観賞

物件名) (旧) 岡川薬局



- 昭和 5 年に建築された旧岡川薬局は、平成 5 年に小樽市指定歴史的建造物に指定され、平成 22 年から、1 階部分をカフェやレンタルスペース、2 階和室部分をゲストハウスとして改修し、保全・有効活用され、地元住民との交流も生まれた。
- 歴史的建造物の新たな活用モデルとして建物の価値を高めたことが評価され、平成 23 年度に小樽市都市景観奨励賞を受賞した。
- 奨励賞受賞後も、出店者が入れ替わる形式のカフェやレンタルスペースでのイベント、宿泊費と労働の等価交換を行うワーキングステイ制の導入など、歴史的建造物を活用した独自の運営方法を取り入れるとともに、地域交流の拠点となるイベント等を開催するなど、創意工夫の努力が認められ、継続して活用されている点が評価された。

小樽市都市景觀獎勵賞

物件名) NPO 法人 小樽民家再生プロジェクト



貸家のマッチング^aの一例



古民家等の売買等に関する無料相談会



「移住・起業支援ハンドブック」の作成



石蔵シンポジウムの様子



- ・平成 24 年に設立し、小樽の民家、古民家の保護に向けた「物件所有者と入居希望者とのマッチング」や「移住・起業支援ハンドブックの作成」、小樽伝統の石蔵の保護を目的とした「小樽石蔵シンポジウムの開催」など、民家の再生に関して多角的な活動を行っており、良好な景観保全活動への積極的な取り組みが評価された。